令和５年度 音楽宅配事業

幸田町文化振興協会
アウトリーチ環境整備事業
登録アーティスト募集要項

主催：幸田町文化振興協会

事業趣旨

当事業実施にあたり、下記の趣旨に賛同するアーティストを募集いたします。

◎地域交流プログラム(アウトリーチ)を通じて、地域の皆様に音楽の楽しさや素晴らしさを伝えることにより、地域の音楽ファンの増加を目指すために、幸田町文化振興協会の登録アーティストとして活動していただきます。

◎登録アーティストを地域の皆様に紹介するとともに、音楽によるコミュニティーづくりを図ることにより、アーティストと地域が継続的で親密な関係を形成する機会づくりをします。

◎幸田町文化振興協会と協力して、地域交流プログラム(アウトリーチ)に関するアイディアを出し合い、実施することにより、地域文化の活性化を図ります。

募集部門

① 声楽　②ピアノ　③管楽器　④弦楽器　⑤打楽器　⑥和楽器

⑦その他(ハープ、アコーディオン、リコーダー等)

応募条件

◎令和５年４月１日時点　18 歳～39 歳

◎別頁に掲載する日程等、当事業のスケジュールに参加できること。

◎ソロまたはアンサンブルでお申し込みください。

参加料

◎無料。ただし、会場までの旅費(交通費･宿泊費)、食費、その他一切の経費は自己負担とさせていただきます。

※オーディションに合格しアウトリーチを行っていただいた方には、実施回数に応じてギャランティーをお支払いいたします。

事業の流れ

①応募(申込書の提出)‥‥‥‥募集要項添付の申込書に必要事項を明記し、お申込みください。
②コミュニケーション研修‥　「アウトリーチ概念」「アウトリーチ手法」などの研修会を行います。
③オーディション‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥各種研修を経たあと、幸田町文化振興協会の登録アーティストとしての活動を希望される方に受けていただきます。
※登録期間は３年間です。
④アウトリーチ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥オーディションに合格(３組を予定)した方に、幸田町内小学２年生を対象にアウトリーチをしていただきます。

研修会講師及びオーディション審査委員

児玉　真（こだましん）

音楽事務所勤務を経て、カザルスホールのプロデューサーとして開館から 2000 年まで多くの主催事業の企画を手がけた。ホールの芸術活動とコミュニティ活動をリンクさせた企画は、2001 年からＮＰＯトリトン･アーツ･ネットワーク(第一生命ホール)で民間ホールとして初めて、また 2006 年からはいわき芸術文化交流館アリオスで地方都市でのアートセンターでの活動をおこなった。

普及的プログラムでは「仲道郁代の音楽学校」「育児支援コンサート」ほかの企画をするとともに、地域創造で公共ホール音楽活性化事業やアウトリーチフォーラム事業、邦楽活性化事業のチーフコーディネーターを長く務める。またいわき市をはじめ、長崎市、熊本県、宮崎県、新潟市その他各地でアウトリーチ事業に関わるとともに、各地で演奏家への実戦的講習を行いアウトリーチの理念の拡大につとめるとともに、地域創造のステージラボのコーディネーターなど研修にもかかわる。現在、（一財）地域創造プロデューサー、長崎市芸術アドヴァイザー。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

花田和加子（はなだ わかこ）

５歳からヴァイオリンを始める。15 歳でイギリスに留学。英国王立音楽カレッジのディプロマを得て、オックスフォード大学にて音楽学の学士号を得る。卒業後帰国し、東京藝術大学大学院修士課程を修了、同大学院博士課程にて学ぶ。ヴァイオリンを石井志都子、李亮才、ジョルジュ･パウク、澤和樹の各氏に師事。1999 年、邦人作曲家の作品を中心にしたリサイタルを開催し、村松賞を与えられる。

アンサンブル東風、アンサンブル･コンテンポラリーαのメンバーを務め、アンサンブル･ノマドではプレイング･マネージャーとして、古典から現代までの幅広いレパートリーで演奏活動を行い、毎年数々の作品の世界・日本初演を行っている。また作曲家からの信頼も高く、ソリストやアンサンブルメンバーとして数々のＣＤもリリースしている。

現在、桐朋学園芸術短期大学にて後進の指導にあたるほか、サントリーホール室内楽アカデミーのファシリテーター、滋賀県次世代創造発信事業「アートのじかん」アドバイザー、静岡県公立ホール連携支援研修事業講師、(一財)地域創造コーディネーターとして公共ホール音楽活性化事業や若手アーティストのアウトリーチ研修事業にも携わっている。

日　程

内　容	日　時	講　師　等	場　所
募集期間(申込書の提出)	令和５年 10 月 22 日(日) (締め切り)	－	幸田町文化振興協会で受付
コミュニケーション研修① 「アウトリーチの意義と実際」	令和５年 11 月７日(火) 18 時 30 分～	児玉　　真	幸田町民会館 会議室
コミュニケーション研修② 「演奏家のキャリアマネジメント」	令和５年 11 月７日(火) 20 時 30 分～	花田和加子	幸田町民会館 会議室
オーディション申込期間	令和５年 11 月 10 日(金) ～11 月 26 日(日)	－	幸田町文化振興協会で受付
オーディション実施 (演奏&面談による選考)	令和５年 12 月 10 日(日) 18 時 30 分～	児玉　　真 花田和加子	幸田町民会館 あじさいホール
コミュニケーション研修③ 「プログラムの作り方」	令和５年 12 月 21 日(木) 12 月 22 日(金)	児玉　　真 花田和加子	幸田町民会館 会議室
学校事前訪問、打合せ、事前相談	令和６年１月	－	幸田町民会館 会議室
小学２年生へアウトリーチ	令和６年２月 13 日(火) ～２月 16 日(金)	児玉　　真 花田和加子	幸田町内の小学校
コミュニケーション研修④ 「活動の検証と今後に向けて」	令和６年３月	児玉　　真	幸田町民会館　会議室

◆スケジュールは、若干変更させていただく場合がございますのでご了承ください。
◆オーディション以後のスケジュールは、合格者対象のプログラムとなりますのでご了承ください。
◆１月以降のスケジュールは、合格者と調整のうえ決定いたしますのでご了承ください。

事業の概要

◎劇場スタッフとアーティストが、アイディアを出し合い、その地域ならではのコンサートやアウトリーチを共同で企画･実施します。

選考方法

◎１～２曲の演奏と演奏曲目や楽器紹介などのトーク(アウトリーチの実演を想定して)を 15 分以内で実施いただいたあと、５分程度の質疑を行います。演奏順等、詳細についてはオーディション申込受付終了後にご案内いたします。

◎質の高い音楽を提供できる能力があることが条件となりますが、事業趣旨に鑑み、音楽的・技術的な能力以外にも、次の点についての意欲を考慮して選考いたします。

・多様な客層に対してアプローチできるプログラムが組めること。

・地域に音楽を楽しむ環境を作るため、コミュニティーとの交流を積極的に行う意志、アイディアがあること。

・当事業のスケジュールに柔軟に対応できること。

◎ソロで応募される方の伴奏者等の経費は、応募者負担とさせていただきます。

◎合格者は３組を予定しています。

合格者へのアウトリーチ、コンサート出演のギャランティーは、ホールの支給基準に基づいてお支払いさせていただきます。

◎審査員

児玉真 氏　花田和加子 氏

合格後の予定

◎研修　令和５年 12 月 21、22 日

※アウトリーチの実施にあたって、実践的な研修を受講していただきます。

◎アウトリーチ　令和６年２月実施予定

※アウトリーチ実施に向けての研修、学校との打合せに参加していただきます。

◎令和５年～７年度の登録アーティストとして、活動していただきます。

応募手続き

◎所定の参加申込書に必要事項を記入して、下記までお申し込みください。

申込受付先

〒444-0103　愛知県額田郡幸田町大字大草字丸山 60 番地

アウトリーチ環境整備事業 宛　担当/本間、金澤

TEL0564-63-1111　FAX0564-63-5186　E-mail hapiru@happiness.kota.aichi.jp

もしくは下記 QR コード読み込んで、専用フォームからもお申込みいただけます。

※応募締め切りは 10 月 22 日(日)です。

アウトリーチについての Q & A

Q．なぜこの事業を行うのか？

A．　この 10 数年あまりの間に、日本の各地に多くの公共ホールが建設されたことはご存知かと思います。多くのホールはできるだけ多くのお客様(聴衆)をお迎えしたいと考えています。

しかし、残念なことにクラシック音楽の演奏会に足を運んでくれるお客様は、どの地域にも決して多くはありません。このことは、アーティストが抱える問題であるだけではなく、地域にとっても深刻な問題です。全国を見てもクラシック音楽を公共ホールで楽しむ聴衆の数は横ばい傾向にあります。

そこで、聴衆のいるところにこちらから飛び込んでいこうというのが本事業の趣旨です。

Q．アーティストの協力は必要なのか

A．　聴衆に最も効果的に音楽の素晴らしさを伝える方法は、アーティストが直接聞き手に訴えることだと思います。アーティストがより身近なところで演奏し、語りかけることは、音楽に無関心であったり、敷居が高いと感じている人達にとって、とてもインパクトのある経験となります。

ホールにとって、アーティストのそういった協力なくしてはこの事業は成り立ちませんが、アーティストにとっても厳しい時代だからこそ、積極的に外に出て興味関心を引くことは大いに有益なことではないでしょうか。「待つ」のではなく、アウトリーチやコンサートという手段を用いて、こちらから「攻め」の姿勢で臨むことにより、音楽ファンが一人でも多く増えるよう、アーティストが地域の人々と様々なスタイルで出会うこの事業にアーティストの協力は必要不可欠なのです。

Q．興味関心はあるものの、うまくできるか不安です

A．　事業企画に豊かな経験を持つコーディネーターが、アーティストと劇場スタッフとの調整役になってくれます。何よりも、打合せを含め劇場に足を運び、地域の方々と顔を突き合わせることにより深いつながりができることは、アーティストにとっても大きなメリットになるはずです。

アーティストの皆様も積極的にアイディアを出していただき、この事業に関わる全員の力を合わせて、素晴らしいものを創り上げましょう。

事業の概要

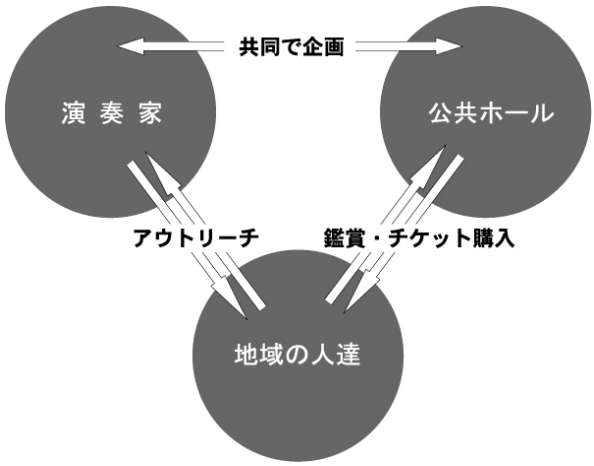
劇場スタッフとアーティストが、アイディアを出し合い、その地域ならではのコンサートと地域交流プログラム「アウトリーチ事業」を共同で企画･実施するほか、劇場主催事業に出演していただきます。

●地域とアーティストの出会いの場を作る

普段クラシックコンサートに足を運ばない人に、クラシック音楽やアーティストに興味を持ってもらうために様々な仕掛けを施します。この仕掛けがアウトリーチと呼ばれるものです。

そもそもアウトリーチという言葉には、「…の先まで達する」「策略にかける」「広げる」「伸びる」「伸ばした距離」「(市民運動や福祉活動の)対象者の裾野を広げる活動」といった意味があります。芸術活動の一環としては、「芸術に接する機会や関心がない人々に対し、芸術への興味と関心を持たせるために芸術家、企画者側から働きかける様々な活動」「音楽家が学校や病院などの音楽ホール以外の場所に出張して行う演奏活動」等といった意味となります。言い換えれば、地域の方々とアーティストである皆さんが音楽を通じて出会える場になるのです。

どのような仕掛けをするかは、劇場スタッフとアーティストがアイディアを出し合って企画します。

●音楽によるコミュニティーづくり

アウトリーチは、劇場スタッフはもちろんのこと、学校の先生や地域の様々な方々の協力があってはじめて成立します。アーティストと劇場、地域の皆様たちとの間の継続的で親密な関係作りを通じて公共ホールの活性化を図り、音楽が身近にある豊かなコミュニティーを育てていくこと。これがアウトリーチ事業の大きな目標です。